	職場環境要件項目	当施設としての取り組み
資質の向上	働きながら介護福祉士等の資格取得目指す者に 対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い 支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸 引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス 提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント 研修の受講支援(研修受講時の他の福祉・介護職 員の負担を軽減するための代替職員確保を含む)	研修計画に沿って、研修費等の補助を行う事により職員 が研修や講習を受けやすい勤務配慮等の環境を整えて いる。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との 連動	キャリアに応じ受けるべき研修等は受講し、質の向上に繋げ人事考課にも反映させている。
労働環境・処遇の改善労働環境・処遇の改善	新人福祉・介護職員の早期離職防止のためのエル ダー・メンター制度等の導入	指導、教育係を付けており、仕事に慣れるまでの間は 特に気にかけ話を行うようにしている。
	雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法 規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用 管理改善対策の充実	個々に負担のかからないシフトの作成を行い、体調不良 等みられる場合は休暇の推進、勤務変更等、臨機応変に 行っている。有給休暇取得推進も積極的に行っている。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制 度等の充実、事業所内保育施設の整備	育児休暇、子の看護休暇等の制度を整備し活用している。また、育児をしながら働きやすいようにサポートしている。
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づき を踏まえた勤務環境や支援内容の改善	気づきや改善点は職員会議時に出してもらい、幹部職員 以上で話し合い環境改善に繋げている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成によ る責任の所在の明確化	事故発生時、緊急時等、各マニュアル、連絡網を作成してあり、いざという時に即座に対応できるようにしている。
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、 職員休憩室・分煙スペース等の整備	健康診断、腰痛検査を定期的に行い健康面の管理を行っている。分煙スペースも設置し、休憩しやすいようにしている。
	中途採用者(他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等)に特化した人事制度の確立(勤務シフトの配慮、短時間正規職員制度の導入等))	それぞれの方の要望に応じ、働きやすい職場環境づくり を行っている。
	障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や 勤務シフト配慮	本人へ確認を取り、周りの職員にも、障害やその人のことを周知してもらっている。障害に応じ、勤務時間や勤 務内容を変え働きやすい様に配慮している。

非正規職員から正規職員への転換	非正規職員から正規職員への転換を奨励し、実績もあ
	る。
地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括	自治会へ加入し、地域の行事にも積極的に参加し共に
ケアの一員としてのモチベーション向上	動している。また、保育園の児童や、地域住民の方に
	事業所にも来ていただき交流を図っている。